




審査結果報告書

2022 年 8 月 24 日

主 査 氏 名 武 田 啓 

副 査 氏 名 天 羽 康 之 

副 査 氏 名 金 沢 嘉 彦 

副 査 氏 名 ツ 崎 田 拓 志 

1. 申 請 者 氏 名 : 熊 埜 御 堂 隆

2. 論 文 テ ー マ : Clinical evaluation of flat peripheral curve design with Aspherical- Curve and Multi-Curve hard contact lenses for keratoconus
(円錐角膜眼に対して周辺部カーブを平坦に作成した非球面カーブハードコンタクトレンズと多段階カーブハードコンタクトレンズの臨床評価)

3. 論文審査結果 :
円錐角膜は角膜実質が菲薄化し前方突出を認める疾患である。眼鏡や通常のコンタクトレンズで矯正困難な場合、特殊なコンタクトレンズが用いられている。申請者らは円錐角膜眼 95 眼に対して周辺部カーブを平坦に作成した非球面カーブハードコンタクトレンズと多段階カーブハードコンタクトレンズを用い臨床評価を行った。最高矯正視力、中央光学部の曲率半径などを評価項目とした。その結果これらの特殊なコンタクトレンズの使用により最高矯正視力の向上、装着可能時間の延長を認め臨床的な有益性を示した。また病期分類で重度のものには多段階カーブハードコンタクトレンズが用いられる傾向にあった。学位審査では申請者が自己の研究成果を発表し、副査および主査の質問にもわかりやすく的確に答えていた。論文には新規性と独創性が認められ、審査員の協議により全員一致で学位論文としてふさわしいものと判断した。